

## 4 計画の進捗状況

### (1) 介護保険事業の取組

#### ア 要介護（要支援）認定者数の推移

要介護（要支援）認定者数は、高齢者人口の伸びに伴い増加しています。

認定率（第1号被保険者数に占める要介護（要支援）認定者（第1号被保険者）の割合）も、年々上昇傾向にあります。

#### 要介護（要支援）認定者数

（単位：人，％）

区 分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
平成 23年度	計 画	1,506 (7.5)	3,284 (16.4)	4,422 (22.1)	3,812 (19.1)	2,681 (13.4)	2,048 (10.3)	2,232 (11.2)	19,985 (100.0)
	実 績	1,725 (8.5)	3,005 (14.8)	3,776 (18.7)	4,382 (21.6)	2,996 (14.8)	2,171 (10.7)	2,202 (10.9)	20,257 (100.0)
	計画比	(114.5)	(91.5)	(85.4)	(115.0)	(111.7)	(106.0)	(98.7)	(101.4)
24年度	計 画	1,934 (8.9)	3,252 (15.0)	4,022 (18.6)	4,755 (22.0)	3,123 (14.5)	2,248 (10.4)	2,295 (10.6)	21,629 (100.0)
	実 績	1,870 (8.8)	3,263 (15.3)	4,139 (19.4)	4,508 (21.1)	3,085 (14.4)	2,194 (10.3)	2,294 (10.7)	21,353 (100.0)
	計画比	(96.7)	(100.3)	(102.9)	(94.8)	(98.8)	(97.6)	(100.0)	(98.7)
25年度	計 画	1,960 (8.5)	3,442 (15.0)	4,184 (18.2)	5,065 (22.0)	3,389 (14.8)	2,382 (10.4)	2,542 (11.1)	22,964 (100.0)
	実 績								
	計画比								

※各年度の上段の数値は人数で、各月平均値、下段の( )書き数値は構成率(%)

#### 要介護（要支援）認定率・平均要介護度

区 分	平成 24 年 3 月	25 年 3 月	26 年 3 月
認 定 率(%)	20.8	20.9	
平均要介護度	2.14	2.05	

※認定率は、第1号被保険者数に占める認定者数(第1号被保険者)の割合です。

ここでいう「区分」の月は「介護保険事業状況報告(月報)」の報告月を表しています。

#### <参考>香川県 要介護（要支援）認定者数等

（単位：人）

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
平成 24 年 3 月	4,922	7,572	9,553	9,768	7,128	5,751	5,537	50,231
25 年 3 月	5,407	8,152	10,462	10,176	7,029	5,906	5,444	52,576
26 年 3 月								

区 分	平成 24 年 3 月	25 年 3 月	26 年 3 月
認 定 率(%)	18.9	19.1	
平均要介護度	1.92	1.85	

※認定率(第1号被保険者のみ)

(資料)香川県介護保険事業状況報告より

## イ サービス利用者数の推移

在宅サービスの利用者数は、すべての区分において要介護（要支援）認定者数の伸びに伴い増加しています。

また、施設サービス利用者数は、介護療養型医療施設から他施設への転換などの影響でわずかに減少しています。

なお、平成 24(2012)年度に、複合型サービス 2 事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護 2 事業者を選定（うち 1 事業者が辞退）し、同年度にこのうちの複合型サービス 1 事業者が本市の指定を受け、サービスを開始しています。

また、平成 25(2013)年度において、特定施設入居者生活介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護のそれぞれ 1 事業者、認知症対応型共同生活介護は 2 事業者を公募選定しました。これにより、平成 26(2014)年度末には、計画した整備量を達成することになります。

### 在宅サービス利用者数

(単位：人，%)

区 分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
平成 23 年度	計 画	957 (7.0)	2,281 (16.8)	3,498 (25.7)	3,019 (22.2)	1,846 (13.6)	1,161 (8.5)	839 (6.2)	13,601 (100.0)
	実 績	1,142 (7.8)	2,249 (15.3)	3,041 (20.8)	3,671 (25.0)	2,248 (15.3)	1,291 (8.8)	1,026 (7.0)	14,668 (100.0)
	計画比	(119.3)	(98.6)	(86.9)	(121.6)	(121.8)	(111.2)	(122.3)	(107.8)
24 年度	計 画	1,323 (8.3)	2,541 (16.0)	3,342 (21.1)	4,023 (25.3)	2,332 (14.7)	1,257 (7.9)	1,062 (6.7)	15,880 (100.0)
	実 績	1,191 (7.7)	2,403 (15.4)	3,290 (21.1)	3,796 (24.4)	2,397 (15.4)	1,332 (8.6)	1,144 (7.4)	15,553 (100.0)
	計画比	(90.0)	(94.6)	(98.4)	(94.4)	(102.8)	(106.0)	(107.7)	(97.9)
25 年度	計 画	1,397 (8.1)	2,790 (16.2)	3,546 (20.6)	4,307 (25.0)	2,611 (15.1)	1,340 (7.8)	1,251 (7.2)	17,242 (100.0)
	実 績								
	計画比								

※「実績」は各月平均値。各年度の上段の数値は人数で、下段の( )書き数値は構成率(%)

### 施設サービス利用者数

(単位：人，%)

区 分		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合 計
平成 23 年度	計 画	1,462 (50.8)	1,261 (43.8)	156 (5.4)	2,879 (100.0)
	実 績	1,433 (53.1)	1,067 (39.6)	196 (7.3)	2,696 (100.0)
	計画比	(98.0)	(84.6)	(125.6)	(93.6)
24 年度	計 画	1,526 (54.0)	1,113 (39.4)	186 (6.6)	2,825 (100.0)
	実 績	1,441 (53.9)	1,051 (39.3)	180 (6.8)	2,672 (100.0)
	計画比	(94.4)	(94.4)	(96.8)	(94.6)
25 年度	計 画	1,584 (54.0)	1,203 (41.0)	145 (5.0)	2,932 (100.0)
	実 績				
	計画比				

※「実績」は各月平均値。各年度の上段の数値は人数で、下段の( )書き数値は構成率(%)

### サービス未利用者数

(単位：人)

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
サービス 未利用者	計 画	3,427	2,924	2,790
	実 績	2,893	3,128	
	計画比	84.4	107.0	

### (介護予防) 特定施設入居者生活介護サービス利用者数 (再掲)

(単位：人)

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
特定施設入居者 生 活 介 護	674 (43)	685 (48)	

※「実績」は各月平均値。上段の数値は総数、下段の( )書き数値は予防給付利用者数

### 地域密着型サービス利用者数 (再掲)

(単位：人)

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
夜 間 対 応 型 訪 問 介 護	142	181	
認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	276 (0)	276 (1)	
小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	267 (17)	261 (17)	
認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護	802 (1)	814 (1)	
地 域 密 着 型 特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	—	—	
定 期 巡 回 ・ 随 時 対 応 型 訪 問 介 護 看 護	—	0	
複 合 型 サ ー ビ ス	—	0	
地 域 密 着 型 介 護 老 人 福 祉 施 設 入 所 者 生 活 介 護	—	—	

※「実績」は各月平均値。上段の数値は総数、下段の( )書き数値は予防給付利用

## ウ 給付実績

### (7) 保険給付（法定給付）

訪問介護をはじめとする在宅サービスの平成 24(2012)年度の給付実績は、介護給付は全てのサービスについて、予防給付については一部のサービスを除き、前年度を上回っています。施設サービスの平成 24 年度の給付実績は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設および介護療養型医療施設ともにほぼ横ばいとなっています。

今後とも、利用実績やサービス利用者の利用意向等を参考に、サービス量を適正に見込む必要があります。

#### 在宅サービス（地域密着型サービスを除く）介護給付実績

区 分		平成 23 年度	24 年度	前年度比 (%)
訪 問 介 護	計 画 (回/年) A	588,782	646,320	109.8
	実 績 (回/年) B	612,949	625,113	102.0
	計 画 比 (%) B/A	104.1	96.7	—
訪 問 入 浴 介 護	計 画 (回/年) A	12,165	12,121	99.6
	実 績 (回/年) B	11,320	11,924	105.3
	計 画 比 (%) B/A	93.1	98.4	—
訪 問 看 護	計 画 (回/年) A	28,278	35,839	126.7
	実 績 (回/年) B	34,139	41,709	122.2
	計 画 比 (%) B/A	120.7	116.4	—
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (日/年) A	8,160	15,307	187.6
	実 績 (日/年) B	13,192	13,969	105.9
	計 画 比 (%) B/A	161.7	91.3	—
居 宅 療 養 管 理 指 導	計 画 (人/年) A	14,973	15,204	101.5
	実 績 (人/年) B	14,185	16,260	114.6
	計 画 比 (%) B/A	94.7	106.9	—
通 所 介 護	計 画 (回/年) A	417,832	576,830	138.1
	実 績 (回/年) B	534,871	589,316	110.2
	計 画 比 (%) B/A	128.0	102.2	—
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (回/年) A	177,023	195,839	110.6
	実 績 (回/年) B	189,508	200,613	105.9
	計 画 比 (%) B/A	107.1	102.4	—
短 期 入 所	計 画 (日/年) A	182,204	234,654	128.8
	実 績 (日/年) B	230,242	243,039	105.6
	計 画 比 (%) B/A	126.4	103.6	—
福 祉 用 具 貸 与	計 画 (人/年) A	42,297	60,324	142.6
	実 績 (人/年) B	57,213	63,917	111.7
	計 画 比 (%) B/A	135.3	106.0	—
福 祉 用 具 購 入 費	計 画 (人/年) A	1,428	1,644	115.1
	実 績 (人/年) B	1,534	1,658	108.1
	計 画 比 (%) B/A	107.4	100.9	—
住 宅 改 修 費	計 画 (人/年) A	1,824	1,368	75
	実 績 (人/年) B	1,176	1,333	113.4
	計 画 比 (%) B/A	64.5	97.4	—
居 宅 介 護 支 援	計 画 (人/年) A	104,400	115,428	110.6
	実 績 (人/年) B	110,311	117,883	106.9
	計 画 比 (%) B/A	105.7	102.1	—
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	計 画 (人/年) A	7,116	7,452	104.7
	実 績 (人/年) B	7,566	7,639	101.0
	計 画 比 (%) B/A	106.3	102.5	—

予防給付実績

区 分		平成 23 年度	24 年度	前年度比 (%)
訪 問 介 護	計 画 (人/年) A	14,420	15,636	108.4
	実 績 (人/年) B	14,848	15,512	104.5
	計 画 比 (%) B/A	103.0	99.2	—
訪 問 入 浴 介 護	計 画 (回/年) A	169	2	1.2
	実 績 (回/年) B	0	26	—
	計 画 比 (%) B/A	0	1,300.0	—
訪 問 看 護	計 画 (回/年) A	426	503	118.1
	実 績 (回/年) B	498	341	68.5
	計 画 比 (%) B/A	116.9	67.8	—
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (日/年) A	404	406	100.5
	実 績 (日/年) B	340	300	88.2
	計 画 比 (%) B/A	84.2	73.9	—
居 宅 療 養 管 理 指 導	計 画 (人/年) A	412	312	75.7
	実 績 (人/年) B	269	235	87.4
	計 画 比 (%) B/A	65.3	75.3	—
通 所 介 護	計 画 (人/年) A	20,262	21,843	107.8
	実 績 (人/年) B	20,585	22,012	106.9
	計 画 比 (%) B/A	101.6	100.8	—
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (人/年) A	6,248	6,540	104.7
	実 績 (人/年) B	6,150	6,462	105.1
	計 画 比 (%) B/A	98.4	98.8	—
短 期 入 所	計 画 (日/年) A	1,269	593	46.7
	実 績 (日/年) B	578	596	103.1
	計 画 比 (%) B/A	45.5	100.5	—
福 祉 用 具 貸 与	計 画 (人/年) A	3,546	7,884	222.3
	実 績 (人/年) B	7,252	8,825	121.7
	計 画 比 (%) B/A	204.5	111.9	—
福 祉 用 具 購 入 費	計 画 (人/年) A	540	456	84.4
	実 績 (人/年) B	460	495	107.6
	計 画 比 (%) B/A	85.2	108.6	—
住 宅 改 修 費	計 画 (人/年) A	600	636	106.0
	実 績 (人/年) B	562	611	108.7
	計 画 比 (%) B/A	93.7	96.1	—
居 宅 介 護 支 援	計 画 (人/年) A	37,980	40,860	107.6
	実 績 (人/年) B	39,100	41,457	106.0
	計 画 比 (%) B/A	102.9	101.5	—
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	計 画 (人/年) A	588	552	93.9
	実 績 (人/年) B	521	576	110.6
	計 画 比 (%) B/A	88.6	104.3	—

### 地域密着型サービス介護給付実績

区 分		平成 23 年度	24 年度	前年度比 (%)
夜間対応型 訪問介護	計画 (人/年)A	324	1,710	527.8
	実績 (人/年)B	1,706	2,177	127.6
	計画比 (%)B/A	526.5	127.3	—
認知症対応型 通所介護	計画 (人/年)A	36,754	38,446	104.6
	実績 (人/年)B	35,338	36,940	104.5
	計画比 (%)B/A	96.1	94.9	—
小規模多機能型 居宅介護	計画 (人/年)A	3,288	3,665	111.5
	実績 (人/年)B	3,003	2,924	97.4
	計画比 (%)B/A	91.3	79.8	—
認知症対応型 共同生活介護	計画 (人/年)A	9,552	9,792	102.5
	実績 (人/年)B	9,610	9,750	101.5
	計画比 (%)B/A	100.6	99.6	—
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	計画 (人/年)A	—	600	—
	実績 (人/年)B	—	0	—
	計画比 (%)B/A	—	0	—
複合型サービス	計画 (人/年)A	—	300	—
	実績 (人/年)B	—	0	—
	計画比 (%)B/A	—	0	—

### 予防給付実績

区 分		平成 23 年度	24 年度	前年度比 (%)
認知症対応型 通所介護	計画 (回/年)A	94	20	21.3
	実績 (回/年)B	0	45	—
	計画比 (%)B/A	0	225.0	—
小規模多機能型 居宅介護	計画 (人/年)A	288	216	75.0
	実績 (人/年)B	200	202	101.0
	計画比 (%)B/A	69.5	93.5	—
認知症対応型 共同生活介護	計画 (人/年)A	0	24	—
	実績 (人/年)B	11	18	163.6
	計画比 (%)B/A	—	75.0	—

### 施設サービス実績

区 分		平成 23 年度	24 年度	前年度比 (%)
介護老人福祉施設	計画 (日/年)A	535,092	556,990	104.1
	実績 (日/年)B	545,260	525,657	96.4
	計画比(%)B/A	101.9	94.4	—
介護老人保健施設	計画 (日/年)A	461,526	406,245	88.0
	実績 (日/年)B	379,475	369,201	97.3
	計画比(%)B/A	82.2	90.9	—
介護療養型 医療施設	計画 (日/年)A	57,096	67,890	118.9
	実績 (日/年)B	68,983	63,964	92.7
	計画比(%)B/A	120.8	94.2	—
施設サービス合計	計画 (日/年)A	1,053,714	1,031,125	97.9
	実績 (日/年)B	993,718	958,822	96.5
	計画比(%)B/A	94.3	93.0	—

## (イ) 事業費

居宅サービス等事業費については、計画比では平成 23(2011)年度 114.0%、平成 24(2012)年度 105.4%となっており、計画を上回っています。

地域密着型サービス事業費については、計画比では平成 23 年度 102.5%、平成 24 年度 93.4%となっています。平成 23 年度は、計画をやや上回っていますが、平成 24 年度は利用者数が計画を下回ったため、事業費も計画を下回っています。

施設サービス事業費については、利用者数が計画を下回ったため、事業費も計画を下回り、計画比が平成 23 年度 94.9%、平成 24 年度 92.8%となっています。

事業費の合計では平成 23 年度 105.5%、平成 24 年度 100.1%となっており、平成 23 年度は計画をやや上回って推移していますが、平成 24 年度はほぼ計画どおりに推移しています。

今後とも、サービス見込量をもとに、事業費を適正に見込む必要があります。

### 平成 23 年度（事業費）

(単位：千円)

区 分	計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A (%)	
居宅サービス（※）等	13,783,647	15,709,439	1,925,792	114.0	
地域密着型サービス	3,309,975	3,392,223	82,248	102.5	
施設サービス	介護老人福祉施設	4,220,749	4,182,734	△ 38,015	99.1
	介護老人保健施設	3,880,432	3,320,558	△559,874	85.6
	介護療養型医療施設	646,112	800,391	154,279	123.9
	小 計	8,747,293	8,303,683	△443,610	94.9
医療療養型医療施設からの転換	231,852	0	△231,852	0	
特定入所者介護サービス	864,715	892,960	28,245	103.3	
高額介護サービス	407,030	557,695	150,665	137.0	
審査支払手数料	42,440	46,546	4,106	109.7	
合 計	27,386,952	28,902,546	1,515,594	105.5	

※ここでいう居宅サービスとは、第5期高松市高齢者保健福祉計画 82 ページに記載している「居宅サービス」に住宅改修費の支給と居宅介護支援（介護予防支援）を加えたサービスを指す。



平成 24 年度（事業費）

（単位：千円）

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A (%)
居 宅 サ ー ビ ス 等		16,253,368	17,136,939	883,571	105.4
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス		3,792,650	3,543,785	△248,865	93.4
施 設 サ ー ビ ス	介 護 老 人 福 祉 施 設	4,583,062	4,215,773	△367,289	92.0
	介 護 老 人 保 健 施 設	3,502,665	3,243,307	△259,358	92.6
	介 護 療 養 型 医 療 施 設	737,708	726,180	△ 11,528	98.4
	小 計	8,823,435	8,185,260	△638,175	92.8
特 定 入 所 者 介 護 サ ー ビ ス		941,416	938,448	△ 2,968	99.7
高 額 介 護 サ ー ビ ス		580,076	600,268	20,192	103.5
審 査 支 払 手 数 料		42,573	44,546	1,973	104.6
合 計		30,433,518	30,449,246	15,728	100.1

(ウ) 在宅サービスの平均利用額

在宅サービスの 1 人当たり平均利用額は、平成 23(2011)年度は 97,616 円、平成 24(2012)年度は 98,765 円と上昇しており、1 人当たりのサービス利用は増加しています。

在宅サービスの 1 人当たり平均利用額

（単位：円，％）

区 分	平成 23 年度		24 年度		利用限度額
	計 画	実 績	計 画	実 績	
要支援 1	24,609 (49.5)	23,822 (47.9)	24,517 (49.3)	23,117 (46.5)	49,700
要支援 2	43,260 (41.6)	41,691 (40.1)	43,056 (41.4)	41,151 (39.6)	104,000
要介護 1	62,760 (37.9)	65,583 (39.6)	68,398 (41.3)	65,454 (39.5)	165,800
要介護 2	94,443 (48.5)	92,486 (47.5)	93,724 (48.1)	93,879 (48.2)	194,800
要介護 3	150,142 (56.1)	160,603 (60.0)	167,647 (62.7)	162,239 (60.7)	267,500
要介護 4	191,989 (62.7)	195,745 (64.0)	204,282 (66.8)	199,588 (65.2)	306,000
要介護 5	225,493 (62.9)	244,371 (68.2)	234,425 (65.4)	246,397 (68.9)	358,300
平 均	91,423 (49.7)	97,616 (51.9)	99,540 (53.1)	98,765 (52.4)	

※区分ごとの上段の数値は平均利用額(円)，下段( )書き数値は利用限度額比(%)

## エ サービス事業者の指定状況

サービス事業者の指定については、第4期計画(平成21(2009)年度～23(2011)年度)に基づき、平成22(2010)年度に認知症対応型共同生活介護1事業者を選定し、平成23年度に指定を行いサービスが開始されました。

また、第5期計画(平成24(2012)年度～26(2014)年度)に基づき、平成24年度に複合型サービス2事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護2事業者を選定(うち1事業者が辞退)し、同年度にこのうちの複合型サービス1事業者が本市の指定を受け、サービスを開始しています。

### サービス事業者の指定状況

区分	平成23年 3月31日現在		24年 3月31日現在		25年 3月31日現在		
	介護	予防	介護	予防	介護	予防	
在宅サービス	訪問介護	113	98	125	108	132	114
	訪問入浴介護	5	4	5	4	4	3
	訪問看護	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	訪問看護ステーション	13	12	18	17	19	18
	訪問リハビリテーション	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	居宅療養管理指導	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	通所介護	113	106	127	117	146	138
		(2,863)		(3,174)		(3,459)	
	通所リハビリテーション (老人保健施設含む)	32	31	32	31	37	37
		(1,065)		(1,065)		(1,275)	
	短期入所生活介護	32	29	35	31	43	40
		(587)		(707)		(814)	
	短期入所療養介護	33	32	31	30	31	30
特定施設 入居者生活介護	21	18	21	18	21	18	
	(816)		(816)		(816)		
福祉用具貸与	52	49	52	49	48	47	
居宅介護支援	129		140		146		
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	—	—	—	—	—	—
		(—)		(—)		(—)	
	認知症対応型 共同生活介護	42	42	43	43	43	43
		(819)		(837)		(837)	
	認知症対応型 通所介護	17	17	17	17	17	17
		(215)		(197)		(197)	
夜間対応型訪問介護	2		2		1		
	—		—		—		
小規模多機能型 居宅介護	16	13	14	12	14	12	
	(397)		(348)		(348)		
複合型サービス	—	—	—	—	1	—	
	(—)		(—)		(25)		
施設サービス	介護老人福祉施設	26		26		26	
		(1,467)		(1,467)		(1,527)	
	介護老人保健施設	18		18		19	
	(1,239)		(1,239)		(1,260)		
介護療養型医療施設	14		12		11		
	(279)		(243)		(201)		
市内事業者数合計	678	451	718	477	758	517	

※在宅サービスの上段はサービス事業者数、下段は定員数

※施設サービスの上段は施設数、下段は定員数

## オ 介護予防事業

### (7) 介護予防一次予防事業施策

元気な高齢者（一次予防事業対象者）が健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、介護予防に資する基本的な知識の普及啓発を図ります。

#### 介護予防普及啓発事業

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
65 歳からの元いきいき教室 (一次予防事業)	実施回数(回)	144	94	
	延べ参加人数(人)	2,380	1,546	
はつらつ介護予防教室 (継続教室) ※	実施回数(回)	496	763	
	延べ参加人数(人)	6,201	9,375	
腰痛・膝関節痛・ 転倒骨折予防講座	実施回数(回)	12	13	17
	延べ参加人数(人)	256	229	
高齢者対象の 健康 教 育	実施回数(回)	591	522	
	延べ参加人数(人)	13,949	12,805	
高齢者対象の訪問指導	延べ訪問人数(人)	638	871	
認知症予防教室	実施回数(回)	30	29	
	延べ参加人数(人)	534	612	
認知症予防講演会	実施回数(回)	2	2	2
	延べ参加人数(人)	75	108	103

#### 元気を広げる人の養成および介護予防ボランティア活動の状況

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
元気を広げる人の 養 成 講 座	受講者数(人)	57	0	68
	延べ受講者数(人)	258	0	313
	修了者数(人)	56	0	66
	延べ修了者数(人)	527	527	593
元気を広げる人 フォローアップ事業	実施回数(数)	35	17	28
	実施地区(数)	23	12	37
元気を広げる人の介護予防 ボランティア活動の状況	実施回数(回)	820	990	
	延べ実施人数(人)	20,507	21,868	
のびのび元気体操普及	実施回数(回)	383	514	
	延べ実施人数(人)	8,484	10,623	

※平成 25 年度 元気を広げる人フォローアップ事業は、平成 25 年 12 月末現在の数字です。

#### 介護予防自主グループ活動の状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
運動主体の自主グループ(数)	22	25	
認知症予防目的の自主グループ(数)	12	13	13

## (イ) 介護予防二次予防事業施策

### a 二次予防事業対象者把握事業

保健・医療・福祉など関係機関と連携し、要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる者（二次予防事業対象者）を把握します。

#### 二次予防事業対象者把握状況

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
人口	(人)	426,712	426,707	
高齢者人口	(人)	97,082	101,632	
高齢化率	(%)	22.8	23.8	
長寿はつらつ健診の対象者数	(人)	75,303	77,981	
高齢者人口に占める割合	(%)	77.6	76.7	
基本チェックリスト回答者数	(人)	39,941	41,954	
高齢者人口に占める割合	(%)	41.1	41.3	
再掲	長寿はつらつ健診受診者数(人)	28,522	30,648	
	健診未受診者に対する基本チェックリスト回答者数(人)	11,419	11,306	
二次予防事業対象者決定者数	(人)	10,678	11,005	
高齢者人口に占める割合	(%)	11.0	10.8	
二次予防事業「はつらつ介護予防教室」プラン作成者数	(人)	1,646	1,846	

※人口は、各年度3月31日現在の住民基本台帳による

参考：「二次予防事業対象者」：主として要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者

「一次予防事業対象者」：主として活動的な状態にある高齢者

## b はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）

二次予防事業対象者に対し、はつらつ介護予防教室（通所型介護予防教室）により、心身の状況等を踏まえて、運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラム、口腔機能の向上プログラム、認知症予防支援、うつ予防支援、閉じこもり予防支援を行います。さらに、「はつらつ介護予防教室」終了後も、引き続き、継続した教室への参加が望ましい人には、「はつらつ介護予防教室継続教室」への参加を促し、継続的に介護予防ができるよう支援します。

### はつらつ介護予防教室

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
運 動 器 の 機 能 向 上	実施箇所数(箇所)	43	50	
	実施回数(回)	1,176	1,740	
	参加実人数(人)	1,211	1,693	
	参加延人数(人)	12,311	17,092	
栄 養 改 善	実施箇所数(箇所)	25	22	
	実施回数(回)	244	248	
	参加実人数(人)	88	67	
	参加延人数(人)	472	352	
口 腔 機 能 向 上	実施箇所数(箇所)	32	41	
	実施回数(回)	487	729	
	参加実人数(人)	437	661	
	参加延人数(人)	2,327	3,477	
そ の 他	実施箇所数(箇所)	44	51	
	実施回数(回)	1,164	1,764	
	参加実人数(人)	650	1,038	
	参加延人数(人)	6,006	10,003	

### はつらつ介護予防教室継続教室

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
は つ ら つ 介 護 予 防 教 室 継 続 教 室	実施箇所数(箇所)	34	40	
	実施回数(回)	496	763	
	参加実人数(人)	644	822	
	参加延人数(人)	6,201	9,375	

※「はつらつ介護予防教室」終了時、判定結果が引き続き二次予防事業対象者となった人に実施している。

## はつらつ介護予防教室と継続教室の参加者・非参加者の要支援・要介護認定率

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

平成 23 年度はつらつ介護予防教室参加者の要支援・要介護認定率は、非参加者より 1.2 ポイント低くなっています。また、平成 24 年度はつらつ介護予防教室（継続教室）参加者は、非参加者より 9.5 ポイント低くなっています。

### 平成 23 年度

区 分	人 数	要支援・要介護	
		認定者数 (人)	認定率 (%)
参 加	1,598	154	9.6
非 参 加	9,080	983	10.8

### 平成 24 年度

区 分	人 数	要支援・要介護	
		認定者数 (人)	認定率 (%)
参 加	789	38	4.8
非 参 加	809	116	14.3

### ○ 訪問型介護予防事業

通所形態による事業への参加が困難な人は、居宅を訪問して、生活機能を総合的に把握・評価し、相談・指導を行う訪問型介護予防事業を行います。

### 訪問型介護予防事業

単位：回，(人)

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
運 動 器 の 機 能 向 上	5(1)	0	
栄 養 改 善	0(0)	0	
口 腔 機 能 向 上	0(0)	0	
閉じこもり予防・支援	5(1)	0	
認知症予防・支援	5(1)	0	
うつ予防・支援	5(1)	0	

#### d 事業評価

二次予防事業について、本市独自の評価を実施するため、介護予防評価ワーキンググループを組織します。介護予防の効果と費用対効果を科学的根拠に基づき明らかにすることを通じて、効果的で効率的な介護予防システムの構築に向けた取組を行います。

区 分	24 年度	25 年度
実 施 回 数 (回)	1	
参 加 人 数 (人)	16	

#### (ウ) 三次予防の推進（予防給付事業）介護予防ケアマネジメント

介護保険で「要支援 1」「要支援 2」と認定された人への介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）の作成やサービス利用後の効果を評価しています。

「要支援 1」「要支援 2」の認定者数の増加とともに、ケアマネジメント件数についても、年々増加しています。また、サービス利用者の維持改善率は、平成 23 年度から 24 年度にかけて 1.9%増加し、自立支援に向けた介護予防マネジメントにより、必要な介護予防サービスを提供することで、心身の状態の維持改善に努めることができています。

#### 「要支援 1」「要支援 2」への介護予防ケアマネジメント

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
利用契約件数(件)	39,381	41,879	

#### 「要支援 1」「要支援 2」のサービス利用後の維持改善率

区分	平成 23 年度			24 年度			25 年度		
	要支援 1, 2 で給付管理を 行った数 A (人)	維持・改善 者数 B (人)	維持改善 率 B/A (%)	要支援 1, 2 で給付管理を 行った数 A (人)	維持・改善 者数 B (人)	維持改善 率 B/A (%)	要支援 1, 2 で給付管理を 行った数 A (人)	維持・改善 者数 B (人)	維持改善 率 B/A (%)
項目	3,835	3,225	84.1	3,889	3,345	86.0			

## カ 包括的支援事業

### (7) 介護予防ケアマネジメント

二次予防事業対象者を対象として、要介護状態になることを予防し、はつらつ介護予防教室への参加者の増加を図るために、円滑かつ効果的にケアマネジメントを行います。

#### 二次予防事業対象者の介護予防ケアマネジメント

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
計 画 作 成 数 (件)	1,646	1,846	

### (イ) 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保険に関するだけでなく、高齢者の様々な相談に応じています。

地域における関係者等とのネットワークの構築により、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を把握し、適切な保健・医療・福祉・介護サービスの機関または制度の利用につなげる等の支援を行っています。

また、平成21(2009)年度より市内28か所の老人介護支援センターを窓口(ブランチ)として委託し、緊密な連携や対応を行っています。

相談者や相談機関、相談内容、相談状況は多種多様ですが、特に医療や認知症に関する相談件数が増加しています。

#### 総合相談支援

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
総 合 相 談 支 援	件 数 (件)	14,519(5,810)	13,855(5,310)	
	実人数(人)	9,111(4,658)	8,251(4,017)	

#### 総合相談支援(内訳)

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
介 護 保 険 (件)	8,114(3,097)	7,640(3,111)	
介護(介護保険以外)(件)	2,829(1,756)	2,476(1,544)	
介 護 予 防 (件)	877( 342)	766( 321)	
健 康 (件)	534( 340)	286( 101)	
医 療 (件)	281( 54)	474( 47)	
認 知 症 (件)	1,355( 94)	1,373( 68)	
そ の 他 (件)	499( 127)	840( 118)	
合 計 (件)	14,519(5,810)	13,855(5,310)	

※( )内は老人介護支援センター対応分を再掲



## (ウ) 権利擁護

高齢者虐待の防止や早期発見，成年後見制度・日常生活自立支援事業の活用に向けての情報提供など，高齢者の人権や財産などを守るための支援を行っています。

高齢者虐待についての相談は，件数，実人数ともに増加しています。高齢者の身近な相談機関として，今後とも，高齢者の人権や財産などを守り，安心して生活ができるための支援を継続する必要があります。

日常生活自立支援事業についての相談は，必要性が浸透するとともに需要も高まり，件数，実人数ともに増加しています。

また，本市が行った成年後見制度申立てについては増加しており，市長申立ておよびその他の申立てについて，必要な人に，適時適切な支援を行っています。

### 権利擁護に関する相談

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
高 齢 者 虐 待	件 数 (件)	634	688	
	実人数 (人)	44	70	
成 年 後 見 制 度	件 数 (件)	705	531	
	実人数 (人)	212	185	
日常生活自立支援事業	件 数 (件)	162	205	
	実人数 (人)	48	69	

### 成年後見制度申立て

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
市 長 申 立 て (件)	9	14	
その他の申立て (本人・親族) (件)	12	12	
合 計 (件)	21	26	

### (イ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域における関係機関との連携体制構築や介護支援専門員同士のネットワークの構築、介護支援専門員が抱える支援困難事例等への助言などを行っています。

介護支援専門員情報交換会に加え、平成 22(2010)年度から、高松市指定居宅介護支援事業者連絡協議会を通じて事業者への支援・助言など連携強化を図りました。

さらに、年々増加している居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの相談に対して、平成 25(2013)年度より「ケアマネ相談日」をサブセンター毎に定例で設け、相談体制の整備を行いました。

#### 介護支援専門員からの相談に対する支援

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
介護支援専門員からの相談	件 数 (件)	590	943	
	実 人 数 (人)	355	477	

### (オ) 老人介護支援センターとの連携

住民の利便性を考慮して、地域包括支援センターの窓口（ブランチ）である、老人介護支援センターと協力、連携し、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する相談や、介護・保健福祉サービスの情報提供、利用申請代行等の業務を行いました。

また、各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）を開催し、老人介護支援センターからも事例提供することで情報共有や意見交換し、より身近な生活圏域で様々な機関や団体が連携し協力体制を取り、地域のネットワーク構築を図りました。

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
老人介護支援センターの連絡会	回 数 (回)	4	3	
	人 数 (人)	217	141	

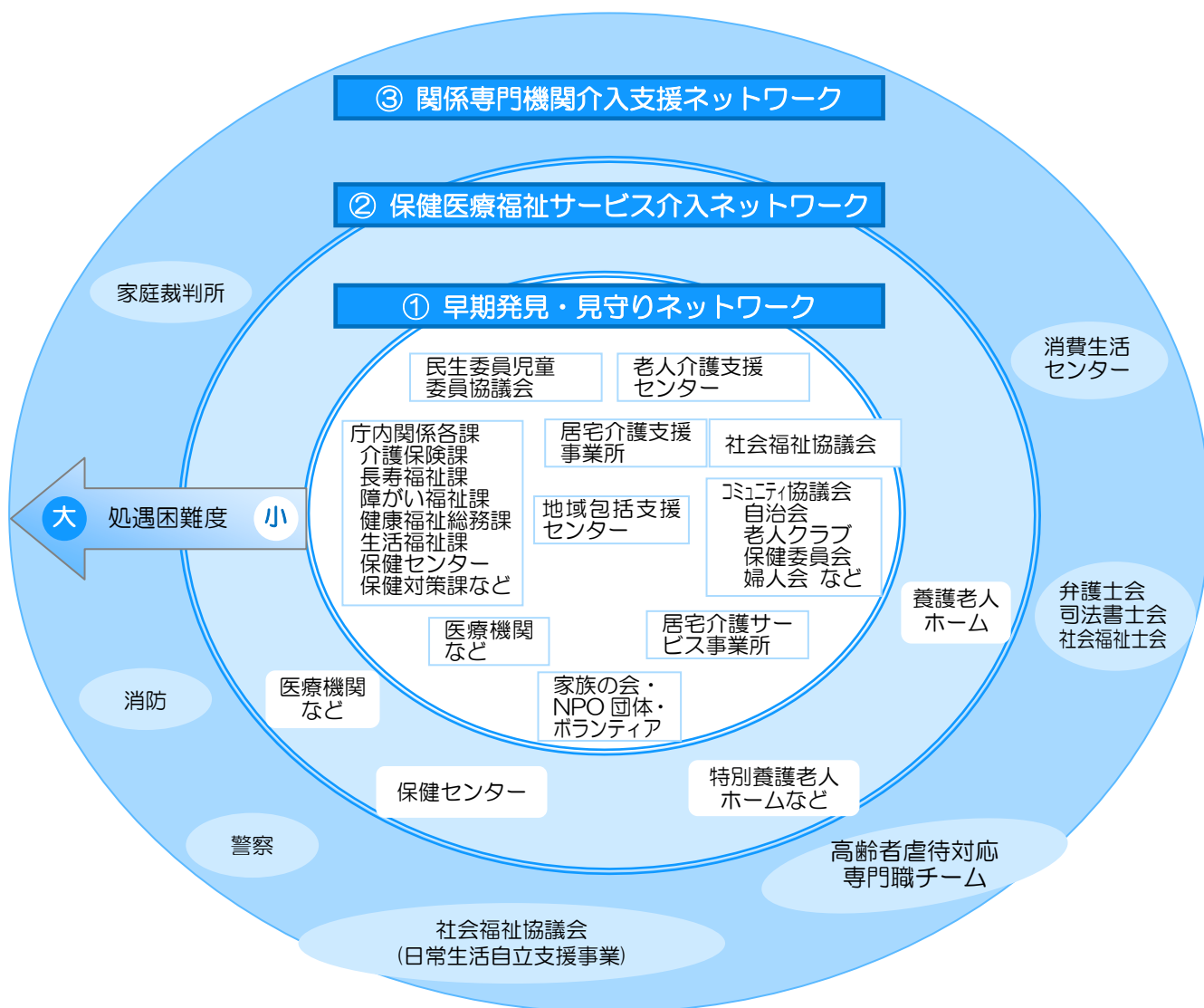
### (カ) 地域のネットワークの構築

介護予防事業の効果的な実施をはじめ、高齢者等が住み慣れた地域で必要とする適切なサービスが総合的に利用できるよう、地域における関係機関との連携体制構築や介護支援専門員同士のネットワークの構築、介護支援専門員が抱える支援困難事例等への助言などを行い地域のネットワークの構築を図りました。

また、地域の支援者や行政職員等が日常生活の様々な問題を抱える高齢者の具体的な支援内容を検討し、課題解決を支援するとともに、その積み重ねを通し関係者の課題解決力の向上や地域包括支援ネットワークの構築を図るために、コミュニティ単位の各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）を開催しました。

### 関係機関との連携状況

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度	
地域	地区民生委員児童委員との連絡会	回数(回)	54	43	
		人数(人)	926	876	
	民連理事会・民連ブロック別研修会	回数(回)	12	12	
介護保険関連	地域密着型運営推進会議	回数(回)	263	289	
	介護支援専門員等との情報交換会	回数(回)	8	6	
		人数(人)	445	457	
	居宅介護支援事業者等との合同会議	回数(回)	12	14	
通所介護事業所との合同会議	回数(回)	9	10		
多職種連携	処遇困難事例に関する医療機関との連携	回数(回)	207	267	
	事 例 検 討	回数(回)	—	8	
	地域 ケア 会議	各地区高齢者支援連携会議(個別課題)	回数(回)	—	4
		各地区高齢者支援連携会議(地域課題)	回数(回)	—	6
		高齢者支援連携会議(全体会議)	回数(回)	—	—



① 早期発見・見守りネットワーク

より身近な地域での日常的な見守りや地域からの孤立を予防する。

② 保健医療福祉サービス介入ネットワーク

介護保険サービス等が必要な場合に、早期発見・見守りネットワークに加えて、保健医療福祉サービスへの的確かつ迅速につなぐことにより継続支援を行う。

③ 関係専門機関介入支援ネットワーク

さらに、より専門的な対応が必要な場合については、保健医療福祉サービス介入ネットワークに加えて専門機関や専門家等の介入支援を行う。

(キ) ケアマネジメント力の向上

老人介護支援センターや介護支援専門員等関係者が参加する各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）の実施により、関係機関や事業者等の連携によるケアマネジメント力の向上とサービスの質の確保を図りました。

## キ 任意事業

### (7) 介護給付等費用適正化事業

介護給付適正化事業の主要 5 事業である「認定調査チェック」、「ケアプランチェック」、「住宅改修等の点検」、「国民健康保険団体連合会の介護給付適正化システムの縦覧点検表による請求内容のチェック」、「介護給付費通知」を実施することにより、サービス事業者の介護報酬請求の適正化を推進しました。

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
認 定 調 査 チ ェ ッ ク (件)	23,300	23,760	
ケ ア プ ラ ン チ ェ ッ ク (件)	119	139	
住 宅 改 修 等 の 点 検 (件)	1,738	1,944	
縦覧点検(軽度者の福祉用具貸与) (件)	828	593	
介 護 給 付 費 通 知 (件)	53,774	56,315	

### (イ) 認知症高齢者見守り事業

#### 徘徊高齢者家族支援サービス事業

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
助 成 件 数 (件)	4	5	
登 録 人 数 (人)	12	11	

### (ウ) 成年後見制度利用支援事業

認知症等によって判断能力の低下が見られる高齢者で、適切な介護サービスの利用や金銭的管理、法的行為などの支援が必要な場合、成年後見制度の利用につなげました。

また、家族がない等の理由で審判の申立てを本市が代わって行ったり、経済的理由で申立て経費や成年後見人等の報酬が払えない場合に、費用の一部を助成しました。

#### 市長申立て状況

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
市 長 申 立 て (件)	9	14	
市長申立ての内申立に要する経費助成 (件)	4	4	
成年後見人等の報酬に係る経費助成 (件)	0	2	

**(イ) 住宅改修支援事業**

介護保険サービスにおける住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成した居宅介護支援事業者等に対して、補助金を交付しました。

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
交付件数 (件)	50	54	

**(オ) 地域自立生活支援事業**

高齢者住宅等安心確保事業（シルバーハウジング）

（平成 25 年 4 月 1 日現在）

住宅名	戸数	入居戸数	入居者数	生活援助員の派遣人数	生活援助員の派遣形態
県営住宅高松元山団地	28 戸	25 戸	29 人	1 人	常駐
市営住宅旭ヶ丘団地	27 戸	25 戸	35 人	1 人	常駐
市営住宅香西本町団地	22 戸	17 戸	21 人	1 人	常駐
市営住宅川東団地	12 戸	11 戸	13 人	1 人	派遣
合 計	89 戸	78 戸	98 人	4 人	

地域支援事業の事業量

平成 23 年度

（単位：千円，％）

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A
介 護 予 防 事 業	介護予防二次予防事業対象者施策	318,897	224,352	△ 94,545	70.4
	二次予防事業対象者把握事業	236,612	149,954	△ 86,658	63.4
	通所型介護予防事業	67,518	71,990	4,472	106.6
	訪問型介護予防事業	12,728	2,129	△ 10,599	16.7
	二次予防事業評価事業	2,039	279	△ 1,760	13.7
	介護予防一次予防事業対象者施策	56,916	39,251	△ 17,665	69.0
	介護予防普及啓発事業	54,050	36,598	△ 17,452	67.7
	地域介護予防活動支援事業	827	319	△ 508	38.6
	一次予防事業評価事業	2,039	2,334	295	114.5
小 計		375,813	263,603	△ 112,210	70.1
支 援 事 業 包 括 的	介護予防ケアマネジメント事業	382,000	306,055	△ 75,945	80.1
	総合相談支援・権利擁護事業				
	包括的・継続的ケアマネジメント事業				
	小 計				
任 意 事 業	介護給付等費用適正化事業	12,409	11,817	△ 592	95.2
	家族介護支援事業	218	46	△ 172	21.1
	認知症高齢者見守り事業	218	46	△ 172	21.1
	そ の 他 事 業	25,772	9,597	△ 16,175	37.2
	成年後見制度利用支援事業	15,924	101	△ 15,823	0.6
	地域自立生活支援事業	9,704	9,396	△ 308	96.8
	住宅改修支援事業費	144	100	△ 44	69.4
	小 計	38,399	21,460	△ 16,939	55.9
地 域 支 援 事 業 合 計		796,212	591,118	△ 205,094	74.2

平成 24 年度

(単位：千円，%)

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A
介 護 予 防 事 業	介護予防二次予防事業対象者施策	353,523	232,345	△ 121,178	65.7
	二次予防事業対象者把握事業	238,129	140,971	△ 97,158	59.2
	通所型介護予防事業	112,980	89,561	△ 23,419	79.3
	訪問型介護予防事業	2,190	1,734	△ 456	79.2
	二次予防事業評価事業	224	79	△ 145	35.3
	介護予防一次予防事業対象者施策	53,219	32,985	△ 20,234	62.0
	介護予防普及啓発事業	51,165	31,429	△ 19,736	61.4
	地域介護予防活動支援事業	734	236	△ 498	32.2
	一次予防事業評価事業	1,320	1,320	0	100.0
小 計		406,742	265,330	△ 141,412	65.2
支 援 事 業 包 括 的	介護予防ケアマネジメント事業	333,590	308,607	△ 24,983	92.5
	総合相談支援・権利擁護事業				
	包括的・継続的ケアマネジメント事業				
小 計					
任 意 事 業	介護給付等費用適正化事業	20,094	18,702	△ 1,392	93.1
	家族介護支援事業	115	57	△ 58	49.6
	認知症高齢者見守り事業	115	57	△ 58	49.6
	そ の 他 事 業	11,315	9,629	△ 1,686	85.1
	成年後見制度利用支援事業	1,919	269	△ 1,650	14.0
	地域自立生活支援事業	9,252	9,252	0	100.0
	住宅改修支援事業費	144	108	△ 36	75.0
	小 計		31,524	28,388	△ 3,136
地 域 支 援 事 業 合 計		771,856	602,325	△ 169,531	78.0

## (2) 高齢者保健福祉事業の取組み

### ア 生涯を通じた健康づくりの推進

#### (7) 「健やか高松21」の推進

高齢化の進展に伴い、平均寿命が伸びてはいるものの、がんや心臓病、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加しており、病気によって生活の質を低下させたり、介護が必要な状態を引き起こし、健康寿命を短くしています。こうした生活習慣病の発症には、普段の食生活や運動習慣などの生活習慣がかかわっていることから、病気を予防するための生活習慣の改善とこころ豊かに人生を送るための健康の保持・増進が重要です。

このため、市民一人ひとりが自らの健康的な生活習慣について考え、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、「こころの豊かさ」、「運動」、「食生活」、「歯の健康」、「安全」、「たばこ」、「アルコール」および「生活習慣病」の8つの生活習慣について、健康づくりの実践目標等を設定した健康づくり推進プランの「健やか高松21」に基づき、生涯を通じた健康づくりを推進しています。

市民自らがこころと身体健康づくりに取り組むための支援として、病気の発病を予防する「一次予防」を推進するための健康づくりの普及・啓発や、がん検診・各種の健康診査を行い、病気の早期発見・早期治療などのための「二次予防」にも取り組んでいます。

### 健康づくりへの取組状況

#### ○ こころの豊かさ

- ・こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発

平成23年度 99回開催 参加者 3,748人

平成24年度 106回開催 参加者 5,297人

平成25年度 回開催 参加者 人

- ・こころの健康相談の実施

平成23年度 相談件数 3,509件

平成24年度 相談件数 3,155件

平成25年度 相談件数 件

- ・こころの健康（うつ病や自殺予防）についての地域での学習会の実施

平成23年度 51回 参加者 1,761人

平成24年度 50回 参加者 1,551人

平成25年度 回 参加者 人



○ 運動・食生活・安全・たばこ・アルコール

- ・運動・栄養・休養・禁煙・アルコールなどの健康づくりのための知識の普及

平成 23 年度 87 回開催 参加者 2,894 人

平成 24 年度 119 回開催 参加者 2,692 人

平成 25 年度 59 回開催 参加者 1,499 人 ※8 月末現在

- ・地区ウォーキング大会の開催支援

平成 23 年度 22 地区 106 回 参加者 5,788 人

平成 24 年度 23 地区 88 回 参加者 5,139 人

平成 25 年度 地区 回 参加者 人

- ・骨粗しょう症予防のための健康教室の実施

平成 23 年度 64 回開催 参加者 2,920 人

平成 24 年度 60 回開催 参加者 3,231 人

平成 25 年度 26 回開催 参加者 1,487 人 ※8 月末現在

- ・高齢者の転倒・骨折予防についての講座の実施

平成 23 年度 284 回 5,158 人

平成 24 年度 232 回 4,893 人

平成 25 年度 63 回 1,478 人 ※8 月末現在

- ・高齢者の健康に関する相談の実施

平成 23 年度 175 回開催 参加者 3,023 人

平成 24 年度 213 回開催 参加者 3,901 人

平成 25 年度 54 回開催 参加者 1,018 人 ※8 月末現在

○ 歯の健康

- ・8020 運動推進などの歯の健康についての知識の普及

平成 23 年度 73 回開催 参加者 2,256 人

平成 24 年度 71 回開催 参加者 4,336 人

平成 25 年度 回開催 参加者 人

- ・成人歯科健康診査の実施（40・50・60・65・70・75 歳）

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
成人歯科健康診査	受診人数（人）	4,229	4,417	
	受診率（%）	13.8	13.3	

○ 生活習慣病

・がん検診の実施

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
胃 が ん	受診人数 (人)	3,439	6,571	
	受診率 (%)	2.9	5.7	
大 腸 が ん	受診人数 (人)	35,106	36,984	
	受診率 (%)	30.1	31.8	
肺 が ん	受診人数 (人)	16,503	18,794	
	受診率 (%)	14.1	16.2	
子 宮 頸 が ん	受診人数 (人)	14,012	14,655	
	受診率 (%)	30.6	32.2	
乳 が ん	受診人数 (人)	10,853	10,747	
	受診率 (%)	29.4	29.2	
前 立 腺 が ん	受診人数 (人)	15,027	15,508	
	受診率 (%)	38.0	39.3	

・がん・高血圧・心臓病などの生活習慣病予防に関する知識の普及

平成 23 年度 161 回開催 参加者 5,477 人

平成 24 年度 213 回開催 参加者 7,432 人

平成 25 年度 回開催 参加者 人

・生活習慣病などの健康に関する相談の実施

平成 23 年度 102 回開催 参加者 3,488 人

平成 24 年度 92 回開催 参加者 3,734 人

平成 25 年度 回開催 参加者 人

・メタボリック症候群早期発見のための健診の実施

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
特 定 健 康 診 査 40 歳～74 歳	受診人数 (人)	24,898	28,173	
	受診率 (%)	36.9	41.5	

・介護予防のための健診の実施

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
長寿はつらつ健診	受診人数 (人)	28,522	30,648	
	受診率 (%)	37.9	39.3	

#### (イ) 保健組織活動の推進

市民一人ひとりの積極的な健康管理と自主的な健康づくり意識の高揚を図るため、地域において主体的に健康づくり活動を行う人材を育成し、保健委員会連絡協議会や各地区保健委員会が行う意識啓発や実践活動などの保健組織活動を推進しています。

##### ○ 地区保健委員会の主体的な活動を行う人材の育成

- ・保健委員会連絡協議会の研修会を通じた人材育成の実施

平成 23 年度 講演会「お医者さんとの上手なつきあい方」とシンポジウム

「これからの医療を考える」 参加者 259 人

「健康づくりとまちづくり」 参加者 151 人

平成 24 年度「南海地震に備えて～スイッチを入れて CSCATTT」

参加者 160 人

「笑い与健康」 参加者 169 人

平成 25 年度 「生きている喜び 末期がんからの生還」

参加者 311 人

#### (ウ) 食生活改善活動の推進

日々のより良い生活習慣が、健康づくりの大きな前提となることから、正しい食生活習慣の普及を図るため、食生活改善推進協議会による伝達講習会の開催等、地域における高齢者の食生活改善の実践活動を推進しています。

##### ○ 地域における食生活改善の実践活動を行う人材の育成

- ・食生活改善推進員（ヘルスマイト）の養成

##### ○ 食生活改善の実践活動

- ・食生活改善推進員による地域伝達講習会の開催

平成 23 年度「よい食生活をすすめるためのグループ講習会」

参加者 885 人

「健やかクッキング教室」 参加者 838 人

平成 24 年度「はつらつクッキング教室」 参加者 939 人

「健やかクッキング教室」 参加者 834 人

「糖尿病予防クッキング教室」 参加者 495 人

「男性の料理教室」 参加者 321 人

平成 25 年度「はつらつクッキング教室」 参加者

「糖尿病予防クッキング教室」 参加者

## (イ) 感染症予防対策の充実

高齢者は結核やインフルエンザなどの感染症に対する抵抗力が弱いことから、正しい知識の普及に努めるとともに、高齢者を対象にインフルエンザの予防接種や、各地区巡回による結核の定期健康診断を実施し、早期発見・早期治療に結びつけるなど、感染症予防に努めています。

### ○ 65歳以上のインフルエンザ予防接種の実施

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
インフルエンザ 予防接種	受診人数 (人)	52,246	52,442	
	受診率 (%)	53.9	51.5	

### ○ 結核健康診断の実施

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
結核健康診断	受診人数 (人)	10,963	11,691	
	受診率 (%)	12.9	13.4	

## (オ) 介護予防の推進および啓発

高齢者の心身機能の改善や環境づくりなどを通じて、個々の生活行為（活動レベル）や参加（役割レベル）の向上をもたらし、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援して、生活の質（QOL）の向上に努めます。これにより、高齢者の健康寿命をできる限り延ばすことを支援します。

- はつらつ介護予防教室の実施等により、要介護状態にならないように支援しています。
- 認知症サポーターなどの介護予防ボランティアの人材育成等により、社会参加を促し、元気な高齢者の増加に努めています。

## イ 生きがづくりと社会活動への参加の促進

### (7) 敬老事業

毎年9月には、各地区において75歳以上の高齢者を対象に、地域の特色を生かした敬老会を開催するとともに、市長および市議会議長等が男女の市内最高齢者と100歳の高齢者宅を訪問し、記念品を贈って長寿を祝っています。

#### 敬老の日の行事内容

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度	
敬老会事業	75歳以上(人)	49,912	51,506	52,209	
	実施	地区(箇所)	41	41	41
		施設(箇所)	80	81	89

#### ●平成26年度からは、地域まちづくり交付金事業へ移行

※老人福祉法に定める敬老の主旨を十分に踏まえ、地域の特色を生かしながら、これまで以上に、地域全体で実施することができるよう、平成26年度から地域コミュニティ協議会への地域まちづくり交付金事業に移行する。

#### 高齢者訪問・敬老祝品

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
市内最高齢者	男 104 歳 女 108 歳	男 104 歳 女 107 歳	男 105 歳 女 108 歳
100歳高齢者(人)	79	105	93
高齢者訪問(人)	26	34	33

※敬老祝品については、障がい者施設の生産品(例、和三盆)等も取り入れて実施

#### 敬老祝金支給

区 分	一人当たり 支給額	平成 23 年度	24 年度	25 年度
77 歳	10,000 円	3,652 人	3,787 人	4,202 人
88 歳	20,000 円	1,520 人	1,536 人	1,628 人
99 歳以上	30,000 円	306 人	343 人	363 人

#### ●平成26年度からは、77歳への支給を廃止

※平均寿命の延伸を踏まえ、長寿を祝うという本事業の主旨が薄れてきていることなどから、平成26年度から77歳への祝金支給を廃止し、支給対象年齢を88歳、99歳以上とする。なお、見直しにより生み出された財源で、高齢者を地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築を推進するため、高齢者が気軽に利用できる居場所づくり事業や定期的な見守りが必要な高齢者の自宅への訪問などの見守り事業等、新たな事業を実施する。

## (イ) 老人クラブ活動への支援

- 老人クラブへの加入促進
  - ・単位クラブを中心とする加入促進活動の実施
  - ・老人大学受講者のうち未加入者への加入促進
  - ・広報紙等の媒体を活用
- 老人クラブ活動内容の充実
  - ・老人クラブ連合会運営・活動事業補助，単位老人クラブ活動助成
  - ・ニュースポーツ等の多様なスポーツ活動の展開
  - ・交通安全指導者研修会を通じた指導者の育成
  - ・情報提供等の機会拡大による活動支援
- 老人クラブ活動を企画・指導する人材の育成を促進
  - ・各種活動を企画・指導する人材を育成する事業等の企画
  - ・指導者研修会を通じた人材育成の促進  
平成 23 年 6 月 27 日～ 7 月 5 日，7 会場で開催，参加者 720 人  
平成 24 年 6 月 25 日～ 7 月 3 日，7 会場で開催，参加者 657 人
  - ・老人大学を通じた地域福祉のリーダー養成の促進  
平成 23 年 5 月 27 日～平成 24 年 2 月 24 日開講  
(健康・文化・生活の 3 学科で延べ 51 講座実施，修了生 146 人)  
平成 24 年 5 月 30 日～平成 24 年 2 月 22 日開講  
(健康・文化・生活の 3 学科で延べ 51 講座実施，修了生 148 人)

### 老人クラブの結成状況

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
ク ラ ブ 数 (団体)	386	381	379
会 員 数 (人)	21,326	20,504	20,081

## (ウ) 生涯学習・生涯スポーツの推進

- 老人福祉センターにおける健康講座の実施，講座内容の充実
  - ・牟礼老人福祉センター  
歌謡教室 12 回 (平成 23 年度) 12 回 (平成 24 年度)  
健康体操 6 回 (平成 23 年度) 6 回 (平成 24 年度)
  - ・茶寿荘  
健康教室 10 回 469 人 (平成 23 年度) 10 回 507 人 (平成 24 年度)  
健康体操 14 回 528 人 (平成 23 年度) 14 回 639 人 (平成 24 年度)

(I) 高齢者の雇用・就業対策の推進

○ シルバー人材センター事業の周知

高松市シルバー人材センター事業

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
高松市シルバー 人材センター事業	会員数 (人)	2,043	1,972	
	受注件数 (件)	22,479	23,054	
	延べ就業人数(人)	162,523	161,341	

高松市シルバー人材センター

事務所	対象地区	住所
本部事務局	旧高松市	高松市西宝町 1 丁目 9-20
南部地区センター	香川町・香南町・塩江町	高松市香川町浅野 836-5 JA 香川県香川浅野支店東隣
東部地区センター	牟礼町・庵治町	高松市牟礼町牟礼 216-1 高松市社会福祉協議会牟礼支所内
国分寺町連絡所	国分寺町	高松市国分寺町新居 1150-1 元国分寺老人福祉センター内

※平成 24 年度より、塩江連絡事務所は、南部地区センターに統合

## (カ) 社会活動への参加の促進

### ○ 長寿手帳の交付

玉藻公園や栗林公園，市美術館（常設展示）などに無料または割引料金で入場できる手帳を交付

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
発 行 人 数 (人)	1,960	2,595	

### ○ 福祉バスの利用

老人クラブの福祉に関する研修会・講習会，社会福祉活動への参加に利用できる福祉バスを提供

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
団 体 数 (人)	53	51	
延 べ 人 数 (人)	2,308	1,782	

### ○ 高齢者福祉タクシー助成事業

要介護状態で低所得の高齢者に，タクシー助成券を交付

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
助成券交付人数 (人)	2,926	2,944	



(カ) ふれあいの場の確保

○ 高齢者福祉施設

・老人センター

屋島源平荘（高松市屋島中町 453 番地 {屋島コミュニティセンター横}

区 分	平成 23 年度	24 年度
入 浴 (人)	910	-
集 会 室 (人)	92	0

※平成 24 年 4 月 1 日入浴休止，平成 25 年 3 月 31 日廃止

・老人福祉センター

ふれあい福祉センター勝賀（高松市香西南町 476 番地 1）

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
入 浴 (人)	16,207	15,471	
集 会 室 (人)	11,965	12,134	
テニスコート (人)	3,303	3,873	
機能回復訓練室 (人)	19,305	19,329	
図書館・児童室 (人)	5,205	4,865	
娯 楽 室 (人)	900	594	

茶寿荘（高松市観光通 2 丁目 8 番 20 号 {高松市総合福祉会館 2F}

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	66,382	70,353	

国分寺老人福祉センター（高松市国分寺町新居 1150 番地 1）

区 分	平成 23 年度	24 年度
入 浴 (人)	74	-
集 会 室 (人)	4,284	4,248

※平成 24 年 4 月 1 日入浴休止，平成 25 年 3 月 31 日廃止

牟礼老人福祉センター（高松市牟礼町牟礼 130 番地 2）

区 分	平成 23 年度	24 年度
入 浴 (人)	3,465	3,204
集 会 室 (人)	3,389	5,299
娯 楽 室 (人)	1,528	1,957

※平成 25 年 3 月 31 日廃止

・介護予防拠点施設

高齢者等の介護予防および健康の保持増進に関する事業や在宅生活の支援に関する事業、居宅介護支援の質の向上を図るための事業を行うとともに、地域住民の世代間交流の場を提供しています。

香南ふれあい館（高松市香南町横井 1001 番地 2）

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
延べ利用者数（人）	1,225	862	

香南地域ふれあいセンター（高松市香南町西庄 511 番地 2）

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
延べ利用者数（人）	480	533	

○ 高齢者の居場所づくり

・一人暮らし高齢者等・居場所づくり事業

ひとり暮らし高齢者等の閉じこもりや孤立を防ぐため、高齢者がいつでも集える居場所づくりを行う住民組織や団体等に、高松市高齢者居場所づくり事業として補助金を交付して支援しています。

区 分	平成 24 年度	25 年度		計
	新規	新規	継続	
開 設 件 数 (件)	2 (塩江町・三谷町)	2 (屋島東町・牟礼町)	2 (塩江町・三谷町)	4

・老人いこいの家（12 箇所）

レクリエーション活動等を通じて高齢者の心身の健康増進を図るとともに、地域での高齢者の会合等の場を提供しています。

施設名	所 在 地	施設名	所 在 地
白 梅 荘	扇町 1 丁目 2-31	西 二 番 丁 荘	扇町 3 丁目 6-15
亀 阜 荘	亀岡町 7-7	新 北 荘	新北町 6-15
楠 上 荘	楠上町 2 丁目 5-11	栗 林 藤 塚 荘	藤塚町 2 丁目 12-23
披 雲 荘	城東町 1 丁目 1-45	玉藻町公共広場	玉藻町 3-20
二 番 丁 荘	番町 2 丁目 13-1	庵治朝日児童公園	庵治町 1256-1
花 畑 荘	多賀町 1 丁目 1-25	牟 礼	牟礼町牟礼 1978-1

・老人つどいの家（11 箇所）

高齢者福祉の向上を図るため、昭和 57 年度から地区老人クラブ連合会が主体となって建設する老人つどいの家に対し、建設費の80%（限度額 600 万円）を助成し、平成 10 年度から修繕費の40%（限度額40万円）を助成しています。

地 区	所 在 地	地 区	所 在 地
弦 打	鶴市町 691-1	仏 生 山	仏生山町甲 681-12
檀 紙	御厩町 1935-6	多 肥	多肥上町 886-1
円 座	円座町 1298-1	三 谷	三谷町 1414
太 田 南	太田上町 1140	西 植 田	西植田町 3150-3
太 田 北	松縄町 1053-13	東 植 田	菅沢町 43
一 宮	一宮町 286		

・老人つどいの部屋（26 箇所）

各地区老人クラブ連合会が、レクリエーション活動等の場として設置する老人つどいの部屋に対し、その維持管理等に必要な経費の一部を補助しています。

※老人いこいの家、老人つどいの家、老人つどいの部屋については、平成 26 年度より高松市高齢者居場所づくり事業へ移行します。

○ 高齢者生きがいデイサービス事業

日常生活に支障のある高齢者または、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯等に、趣味や創作活動、レクリエーションなどのデイサービスを実施

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
実 施 施 設 数 (箇所)	32	32	
登 録 人 数 (人)	843	744	
延 べ 利 用 者 数 (人)	10,033	8,853	

## ウ 生活支援事業の推進

### (7) 家族介護支援等の推進

#### ○ 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業

寝たきりまたは認知症等の高齢者で、常時紙おむつを必要とする方に紙おむつを給付

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
登 録 人 数 (人)	4,205	1,853	
延 べ 利 用 者 数 (人)	47,849	26,457	

※平成 23 年度は、生計中心者の前年度所得を 800 万円以下として実施

※平成 24 年度からは、寝たきり高齢者等の身体要件を、原則、要介護 3～5 とし、生計中心者を市民税非課税として実施

#### ○ 寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業

寝たきりまたは認知症の高齢者を、自宅で常時介護している家族の方に、介護見舞金を支給

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
支 給 人 数 (人)	1,423	888	

※平成 24 年度からは、寝たきり高齢者等の身体要件を、要介護 4、5 として実施

#### ○ 高齢者短期入所事業

虚弱な高齢者を、家庭において一時的に養護できなくなった場合に、養護老人ホームでの短期間の入所サービスを提供

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
延 べ 利 用 人 数 (人)	18	31	
延 べ 利 用 日 数 (日)	107	209	

### (イ) ひとり暮らし高齢者等への支援

#### ○ 緊急通報装置貸与等事業

ひとり暮らし高齢者等に、緊急時に押しボタンにより異常事態を消防局に知らせる装置を貸与・給付

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
貸 与 ・ 給 付 件 数 (件)	2,530	2,461	

#### ○ 軽度生活援助事業

日常生活上の援助が必要なひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、シルバー人材センターの援助員による買物、家周りの掃除などの軽易なサービスを提供

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
登 録 人 数 (人)	2,838	2,978	
延 べ 利 用 回 数 (回)	16,931	17,364	

○ **高齢者と施設の交流事業**

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に，見守りおよび老人福祉施設で調理された食事を自宅まで配食するサービスを提供

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
実 施 施 設 数 (箇所)	10	10	
延 べ 食 数 (食)	27,164	25,477	

○ **高齢者と地域の交流事業**

ひとり暮らし高齢者等を対象に，地域の方々の協力による，閉じこもり予防および定期的な食事サービス（会食）の提供

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
実 施 地 区 数 (箇所)	28	28	
延 べ 食 数 (食)	23,596	23,939	

○ **高松市社会福祉協議会食事サービス助成事業**

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に，会員制により，日常における配食サービスに要する費用の一部を助成

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
助 成 食 数 (食)	110,604	101,882	

○ **福祉電話貸与事業**

低所得のひとり暮らし高齢者等に，福祉電話を貸与

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
貸 与 件 数 (件)	152	159	

○ **日常生活用具給付事業**

低所得のひとり暮らし高齢者または身体機能が低下状態にあるひとり暮らし高齢者に，自動消火器，火災警報器，電磁調理器を給付

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
自 動 消 火 器 (件)	51	32	
火 災 警 報 器 (件)	106	27	
電 磁 調 理 器 (件)	79	42	

## エ 認知症高齢者等対策の推進

### (7) 認知症地域支援ネットワークの構築

地域包括支援センターや関係課および関係機関等と連携し、地域における認知症ケア体制の充実を図るとともに、地域において認知症ケア体制および認知症の人と家族を支えるための医療支援体制の構築を進める認知症疾患医療センター等と連携し、認知症地域支援ネットワークの構築に取り組んでいます。

また、認知症高齢者支援に携わる専門職を対象に、研修を行い、地域における認知症対策についての意識の向上と共通理解を図っています。

さらに各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）等の場を活用し、地域住民や民生委員児童委員、老人介護支援センターなどさまざまな関係機関と連携し、地域ネットワークの構築に取り組んでいます。

市民の認知症への理解を深めるため、広報紙やホームページをはじめ、講座や講演会など認知症に関する普及啓発活動を推進しています。

### 市町村認知症施策総合推進事業

認知症になっても住み慣れたまちで暮らしていくために、地域住民が認知症を理解し、ともに地域で支え合うために自分ができることは何かを考える機会とするために認知症講演会等の事業に取り組みました。

#### ・ 認知症講演会を開催

平成 23 年 11 月 11 日、テーマ：センター方式を地域で活かそう  
永田 久美子先生 188 人参加

#### ・ 認知症啓発事業

ステッカー110枚 マグネット 5,824 枚配布  
平成 24 年 3 月 15 日 認知症関係者会議 下笠居白寿会 56 人参加

### (1) 認知症高齢者とその家族等への地域支援 物忘れ・認知症相談

医師や保健師による「物忘れ・認知症相談」を実施し、身近な専門相談機関として認知症の早期発見・早期対応等の支援に取り組んでいます。

区 分		平成 23 年度	24 年度	25 年度
開催回数 (回)		24	24	
実人数 (人)		92	88	
内訳	終 結	12	11	
	助 言 指 導	34	27	
	医療機関紹介	46	50	

※平成 21 年 11 月より開始

## 認知症の人を支える家族のつどい（ひだまり）

介護者の悩みや情報交換など仲間づくりを行う場として「認知症の人を支える家族のつどい」（ひだまり）を、開催しています。

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
開催回数 (回)	6	12	
延べ人数 (人)	72	111	

※平成 22 年 11 月より開始

## (ウ) 認知症サポーターなどの介護予防ボランティアの人材育成等

地域住民の認知症高齢者等に対する正しい知識の普及啓発を図るため、平成 21(2009)年度から、認知症サポーター養成を実施しています。

### 認知症サポーターの養成講座

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度	
実施回数 (回)	151	92		
受講実人数 (人)	4,526	3,157		
内訳	一般住民 (人)	2,504	1,172	
	企業 (人)	590	519	
	学校 (人)	625	477	
	行政 (人)	382	757	
	介護サービス (人)	425	232	

### 認知症サポーターフォローアップ講座

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
実施回数 (回)	2	1	
参加実人数 (人)	283	130	

### 介護予防ボランティアのつどい

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
実施回数 (回)	5	3	
参加実人数 (人)	131	149	

※高松市介護予防ボランティアとは、「元気を広げる人」「認知症サポーター」「介護予防サポーター」の養成講座の受講者を総称したものです。

## オ 高齢者虐待防止対策等の推進

- 高齢者虐待防止・対応の適切な措置
- 警察署等の関係機関との連携により、高齢者虐待の防止を図る。
- 高松市高齢者虐待防止・対応マニュアルの市民等への周知
  - ・居宅介護支援事業者説明会で周知
  - ・相談窓口での対応に活用
  - ・通所介護事業者連絡協議会において虐待防止対応研修

## カ 地域包括ケア体制の充実

### (7) 要援護高齢者名簿の整備

ひとり暮らし高齢者の実態把握に努め、要援護者名簿を整備し、各地区民生委員・児童委員の協力による見守り体制の構築を図る。

### (4) 高齢者等への見守り活動

#### 高松市地域で支えあう見守りに関する協定

本市、企業・団体等および高松市民生委員児童委員連盟が、それぞれの立場で連携・協力して、高齢者等の見守り活動および支援活動を行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備し、もって地域福祉の向上に寄与することを目的とした、地域で支えあう見守り活動に関する協定を締結した。

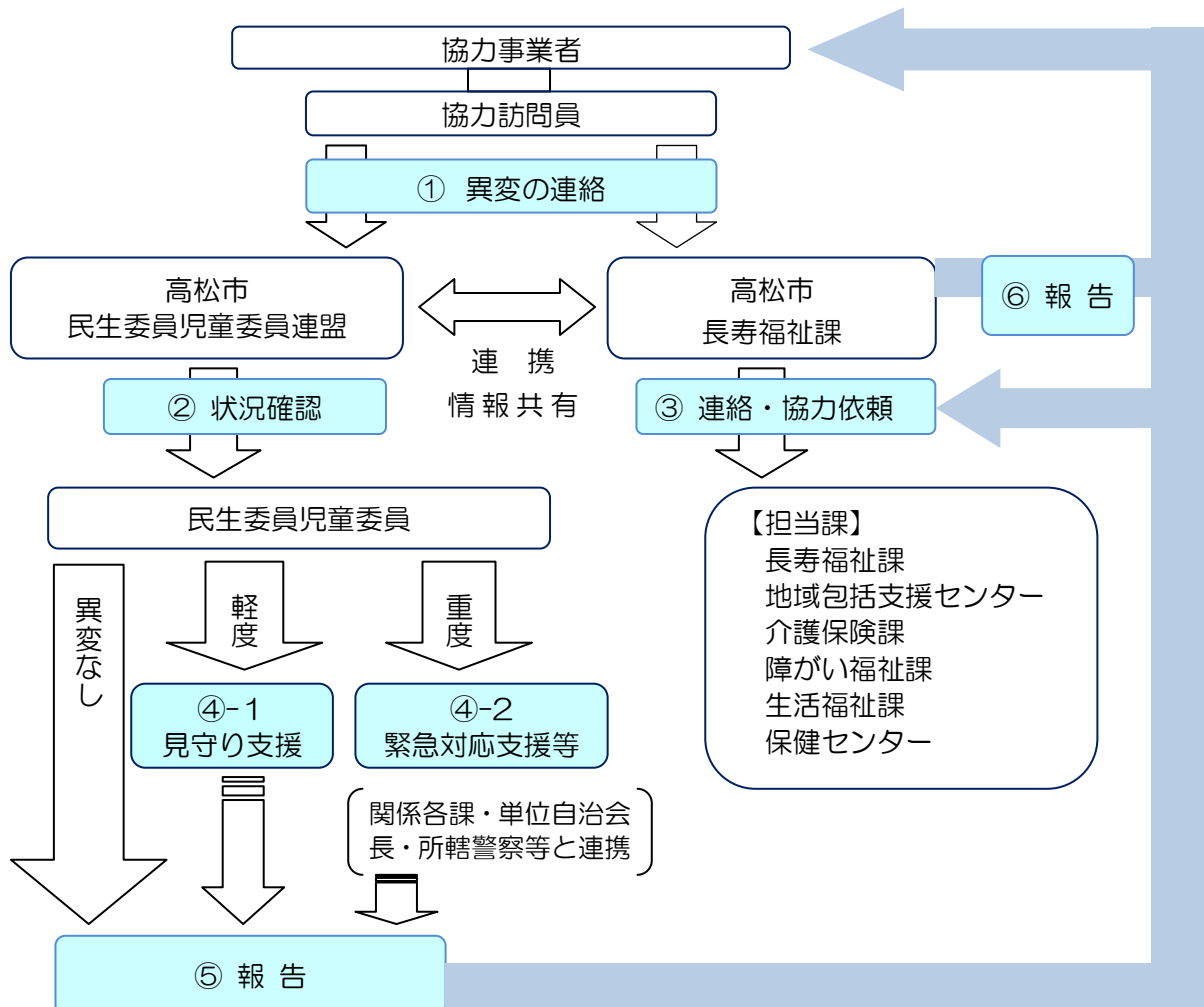
企業・団体等の協力事業者が、通常業務の範囲において、高齢者等支援を必要とする方のご自宅を訪問した際、何らかの異変を発見した場合に、その状況を連絡していただくことで、事故等の未然防止や早期発見など、高松市民生委員児童委員連盟や関係各課等と連携し、適切な対応を図る。

## 事業の実施状況

区 分		平成 25 年度
高松市地域で支えあう見守りに関する協定	協定締結事業者数	27

※高松市民生委員児童委員連盟を除く。

### 高松市地域で支えあう見守り活動フロー図





(ウ) 地域包括ケアの環境づくり

高松市版地域包括ケアシステム（現在のすがた）

医療（在宅医療・介護との連携）

- 【医療と介護の連携推進】
- ・医師会との連携促進
  - ・「在宅医療連携会議（仮称）」による在宅医療推進の取組
  - ・コミュニティ単位の高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）開催による介護と医療の顔の見える関係づくり

- ・認知症サポーターによる見守り
- ・紙おむつ支給
- ・介護見舞金支給
- ・高齢者福祉タクシー助成事業
- ・徘徊高齢者家族支援サービス事業（探査機器購入費助成）

要介護・認知症高齢者等支援

生活支援・社会参加・見守り

高齢者の社会参加

- ・地域のボランティア活動・小学生登下校の見守り・自治会役員当番・公園清掃、趣味の同好会など
- ・老人クラブ・老人大学受講、教養趣味活動
- ・見守り等社会活動
- ・シルバー人材センター加入・働く意欲を支援
- ・生きがいデイサービス
- ・敬老会・敬老祝金支給事業・福祉バス提供

高齢者の見守り・安否確認 生活支援

- ・家族、親族による見守り
- ・民生委員による訪問・見守り活動
- ・地区社会福祉協議会による訪問・見守り活動
- ・民生委員児童委員連盟、事業者等との見守り協定締結
- ・一人暮らし高齢者等・居場所づくり事業
- ・地域支え合い活動リーダー研修（人材育成）
- ・食事サービス（社会福祉協議会・介護家事援助サービス）
- ・緊急通報装置貸与事業
- ・福祉電話貸与事業
- ・高齢者と施設の交流事業
- ・高齢者と地域の交流事業
- ・高齢者短期入所事業
- ・軽度生活援助事業
- ・住宅改造成業
- ・日常生活用具給付事業（火災報知器・自動消火器・電磁調理器給付）
- ・シルバーハウジング

- いつまでも元気に  
地域で暮らす高齢者
- 【住まい】
- ・戸建住宅
  - ・共同住宅
  - ・（アパート・マンション）
  - ・有料老人ホーム
  - ・ケアハウス
  - ・サービス付き高齢者向け住宅

住まい

介護（在宅介護・介護保険）

- ・特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）
- ・地域密着型特定施設入居者生活介護（入居定員29人以下の介護専用型）
- ・認知症対応型共同生活介護（地域密着型）
- ・短期入所生活介護
- ・短期入所療養介護（介護老人保健施設・介護療養型医療施設）
- ・小規模多機能型居宅介護（泊り）
- ・複合型サービス（泊り）

介護予防

（悪化させない・必要にさせない）

- ・65歳からの元気いきいき教室
- ・腰痛、膝関節痛、転倒・骨折予防教室
- ・認知症予防教室
- ・その他の介護予防講座
- ・二次予防事業対象者
- ・はつらつ介護予防教室
- ・はつらつ介護予防教室継続教室

- ・認知症サポーター養成講座
- ・元気を広げる人の養成講座修了者
- ・介護予防ボランティアのつどい

- ・訪問看護（病院・診療所・指定訪問看護ステーション）
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ・複合型サービス（訪問介護看護）
- ・訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション
- ・居宅療養管理指導
- ・訪問介護、訪問入浴
- ・夜間対応型訪問介護
- ・通所介護、認知症対応型通所介護
- ・福祉用具貸与

## キ 災害時の援護体制の整備

各地区においては、災害時や日常の見守り等に備えるため、ひとり暮らし・寝たきり高齢者の把握に努め、要援護高齢者名簿を作成しています。

今後とも、地域による見守り体制を推進していく必要があります。

要援護高齢者名簿登載状況

区 分	平成 23 年度	24 年度	25 年度
ひとり暮らし高齢者 (人)	9,324	9,431	9,542
寝たきり高齢者 (人)	762	712	621

## ク 市民活動団体との連携

田町商店街に設置していたボランティア・市民活動センターを平成 24 年 8 月に四番丁スクエア内に移転し、名称を市民活動センターとし、情報収集・提供、NPO 活動支援、様々な団体の連携に努めています。

## ケ 福祉意識の醸成・啓発

### ○ 福祉に関する学習機会の拡大

小中学校の総合的な学習の時間において、高齢者との交流を計画する等、高齢者と児童生徒相互が共に学び合える場や理解を深めることのできる場となるよう指導しています。

### ○ 広報誌などの広報活動を通じた情報提供、意識啓発

広報紙をはじめ、ホームページ、テレビ、ケーブルテレビ、FM ラジオ、有線放送などの広報媒体を活用して、市民に対し情報を提供しています。

## コ 安全で住みよい環境づくりの推進

### 高齢者の住環境の充実

#### ○ サービス付き高齢者向け住宅の普及と適正な運営の確保

登録制度の施行(平成23年10月)に伴い、制度概要や登録された住宅の情報を提供するとともに、適正な事業運営がなされるよう、指導監督を実施しています。

区 分	平成23年度	24年度	25年度
登録施設数(施設)	9	23	
住宅戸数(戸)	254	688	

#### ○ 有料老人ホームの普及と適正な運営の確保

入居者の快適な居住環境を確保するとともに、適正な事業運営がなされるよう、指導監督を実施しています。

区 分	平成23年度	24年度	25年度
届出施設数(施設)	41	49	
定員数(人)	1,260	1,526	

#### ○ 自宅において暮らしやすい生活

##### ・高齢者住宅改造助成事業

寝たきり等の状態で、日常生活で介助を必要とする高齢者の世帯に、自宅の浴室・便所等の改造費の一部を助成

区 分	平成23年度	24年度	25年度
助成件数(件)	45	28	

### (3) サービス基盤の充実

#### ア 介護保険対象サービス基盤

いずれのサービスについても、おおむねサービス見込量を満たす整備数となっています。今後、入所ニーズの把握や関連施設の整備状況等を勘案し調整を図る中で、それぞれの機能ごとに、地域の実情に応じたサービス基盤の充実に努める必要があります。

主な介護保険対象サービス基盤の整備状況

区分	平成26年度 (見込量)	24年度末 (実績)	25年度末 (実績)	26年度末 (見込)	見込量 との差
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1,642床	1,527床 (26施設)	1,527床 (26施設)	1,617床 (26施設)	△25床
介護老人保健施設	1,274床	1,260床 (19施設)	1,275床 (19施設)	1,281床 (19施設)	7床
介護療養型医療施設 (療養型病床群等)		195床 (10施設)	195床 (10施設)	195床 (10施設)	
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	873人	837人 (43事業所)	837人 (43事業所)	873人 (45事業所)	0人

#### イ 介護保険対象外サービス基盤

いずれのサービスについてもサービス見込量を満たす整備数となっています。

今後、入所ニーズの把握や関連施設の整備状況等を勘案し調整を図る中で、それぞれの機能ごとに、地域の実情に応じた既存施設の有効活用に努める必要があります。

介護保険対象外サービス基盤の整備状況

区分	平成26年度 (見込量)	24年度末 (実績)	25年度末 (実績)	26年度末 (見込)	見込量 との差
養護老人ホーム	200床	200床 (2施設)	200床 (2施設)	200床 (2施設)	0床
軽費老人ホーム (ケアハウス)	488人	488人 (13施設)	488人 (13施設)	488人 (13施設)	0人
老人介護支援センター	28か所	28か所	28か所	28か所	0か所
老人福祉センター	2施設	4施設	2施設	2施設	0施設